

=====
はやぶさ 第 329号 2019年11月22日(金)

=====
はじめての SDGs「エスディーゼズ」 5回シリーズ

第 3 回 * SDGsによるビジネスチャンスは
* サプライチェーン * 生活者の意識と選択

著者:株式会社 I&C・HosBiz センター
Captain 平本 靖夫

=====
*SDGsの基本的な考えと理念経営の実戦について、やさしく5回にわたり解説いたします
*** 毎回お読みの方は、序論と目次をスルーして本文より、お読みください***

序 論

私達を取巻く自然環境・社会環境・経済環境は、今までの常識からの激変の中を進行中のようです。この2~3年続いた風水害は今年も台風15・19号で、多大な災害を生活や農業へもたらしました。温暖化のため今後もしばらくは、続きそうな予感があります。

世の中は益々暮らしにくくなってますね。少子化・人口減・高齢化の進行の影響、国のデフレ対策の失敗で、格差社会の拡大・実質所得の減少・子どもの貧困が6人に1人・高齢者の生活は脅かされています。未来への希望は見えない状況で閉塞感が漂い解決しようのない漠然とした不安があり重苦しい生活感情の中にあるのは私だけでは無いと思います。しかし、未来に展望を持って生きています。

世界は、米中の貿易戦争、イギリスのEUからの脱退問題とヨーロッパの衰退、中東の争い、アフリカや南米の難民問題とテロのリスク等危機は世界中に広がっています。それらは直接間接に私達の生活に影響を与えているのを日々実感していますね……

国連はその対策として、人類と地球環境の対策のためSDGsを提案したのです。

現実がどんなに苦しくとも困難に満ちているとも、私たちは「**勇気と希望**」をもって未来に向かい、次世代を担う子々孫々を育てていく使命があり、それなくして「**持続**」はできないのです。次代の変化はむしろ未来を志向する者にとっては“**チャンス**”でもあるのです。

今後の経営環境に適応していくには、企業はこのSDGsの経営課題の解決なしでは持続することは無いと断言できます。それはダービンの進化の話のとおりで、子孫を残すための個体が生存できないからです。

5回の目次は以下のとおりです。変更することもありますので、悪しからずよろしくお願いします。

① # 327……191025……

配信済み・バックナンバー:https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_381.pdf

* SDGsを必要としている地球環境の現況
中小企業での取組みへの指針

② # 328……191108……

配信済み・バックナンバー:https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_383.pdf

* SDGsは理念活動……やるべきことの17項目…
やれることから始める……すでにやっていることもある

③ # 329.....191122

* SDGsによるビジネスチャンスは
・サプライチェーン ・生活者の意識と選択

④ # 330.....191206

* 理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

⑤ # 331.....191220

* SDGs は地球と人類の未来を創造して持続し続ける世界を築く
平和・地球環境・愛念

*****本文*****

第3回 * SDGsによるビジネスチャンスの創出

・サプライチェーン ・生活者の意識と選択

1、第1回でアジェンタには17の「目標」と169の「ターゲット」から「持続可能な開発目標」で構成されていると述べました。第2回ではSDGs「エスディーゼーズ」の17目標のジャンルは

・人間と社会の課題が①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮と12目標 ・地球環境の課題が⑦⑬⑭⑮と4目標と究極の目標である⑯平和 に整理される。

そして、どの目標も日常の私達の生活と地球環境に深くかかわっているのを認識いたします。

私見になりますが、解決するには国際協力がないと実現しない課題、国レベルでやらないと実現しないこと、地域のコミュニティーでないとできない課題等があります。では、中小企業ではどう取組んだら持続し効果がでるのでしょうか？

1、SDGsは社会現象になりつつあると観じています。

企業姿勢としてのブランドを高めるために取組んでる企業は大手に多いようです。

子供達への啓蒙と教育があちこちで進んでおり、NPOを初めて活動が活性化しています。

とにかく身近で取組める課題から始めるのがいいでしょう。

行政も大手企業もサプライチェーンでの取引において、SDGsに取組んでいることが条件になる時が来るかもしれません。丁度ISOがそうであったように...ですからSDGsの情報を集めることが重要ですがそれには具体的に小さなことでも良いですから取組むことだと思います。

* 例えば

④質の高い教育をみんなに

・世界中の人々に、教育の機会均等の実戦(国内・国際的にも)を推進し、質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。人づくりこそ、SDGsを推進する基本機能であり、最も優先度の高い目標である。

⑧働きがいも経済成長も

・自己実現したいすべての人のために、ディーセント・ワーク(働きがいある人間らしい仕事)ができる環境を構築し推進する。持続可能な経済成長、生産的な完全雇用を目指す。

経営者の具体的経営課題であり、社員・関係者に「出番」を与え、人時生産性を上げる

④⑧は、深い関係にあります。

⑧のワクワクする仕事をすれば、出番と達成感・人に役立っていることを実感できます。④質の高い教育とは知識を詰め込むのではなく、その人らしい出番を発揮している環境を整えてやることだと思います。

教育を受けるチャンスがない人には、機会を与えることになりませんが、企業内では企業の目的に合わせながら、社員のポテンシャルを上げてあげる教育の取組みが大事です。

教育は深い愛情がないと持続できず、目先の戦力化のみを目指しては、中期的・長期的な人は育たないのです。持続している企業には、しっかりとした教育のしくみと継続する文化が伝えられています。

HosBizの理念経営を30年、40年と持続して企業は、例外なく小集団活動(QCサークル・ワークシヨップ研修等)で、仕事の基本とアイデアを出す訓練を続けてます。

* ゴミを出さない。分別して循環させれば⑪⑫の課題の取組むことになり

⑪住み続けられるまちづくりを

・都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエント)かつ持続可能にするには、地域のコミュニティが活性化して生活者としての安全・安心が前提になる。子供たちが棲む生活環境と文化

⑫つくる責任・つかう責任

・地球環境を痛めない持続可能な消費モデルと生産・物流のパターンを創り上げる。経営者として生活者として、常に念頭に置いておくべき目標であり経営課題であり生活態度。

毎日の食生活ではゴミを出さない努力が求められます。トレーやパッケージ、買い物袋等は中々やめることはできませんので、次のことを心がけ実践できればSDGsの理念に同期しているのです。

* 持ち帰る * 分別して捨てる * 食べ残さない 生活者としての、つかう責任です。

これから大きな災害が予測されてます、0331・西日本豪雨・最近の15号・19号の風と雨の災害では、日ごろの地域のコミュニティが災害を最小化し、回復を早めていることが実証されています。

ここに、大きな示唆が隠れていると思います。地域の中小企業はその中核としての役割があると思います。消防や警備において私のお手伝いした企業も、そうした役割を果たしています。

⑪パートナーシップでも目標を達成しよう………持続のための絶対条件…大事な大事なこと

・持続可能な社会に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップ(国際間の理解と協力)を活性化するために、絶え間ないコミュニケーションを日常生活の中で持続する。

2、HosBizのSDGsへの取組み……SDGsでも現場主義で行きますので……

・支援先や自分の生活姿勢をみると、SDGsの体系のように進めてはいませんが、日常の経営活動や生活の中で、節電・節水・ゴミの削減・物流の改善・駅や道の掃除・スペシャルオリンピックの後援等に取り組んでいる。そうした活動を積み上げて、SDGsのどの目標に当てはまるのかと整理確認して、社会により還元する方法を創意工夫するのが、良いと考えます。はじめにSDGsありきではなくて、結果としてそうなる方が無理のない持続可能なSDGsであると思っています。

国連は2030年を活動の期限と考えていますが、この地球上に人間が生活するがぎり、永遠の課題であるのです。この課題を解決するために私は生まれて来たのだと認識しております。

中小企業で働く社員。経営者。株主。協力者(業者・外注・フリーランス等)の幸せが実現しなければ日本は良い国にならないとの「強い信念と不撓の決意」で理念経営を推進しております。

HosBiz・Worldは会員制のクラブで、理念経営を存在理念として志向し、キャッチコピーは「平和・地球環境・愛念」で、HosBizのクルーは理念に基づいて考働して皆様と地域社会に貢献いたします。

このSDGsの実践は理念経営の推進そのものと受け止めて全身全霊をかけて邁進します。
あと、2回解説いたします。

*****次回は191206・第4回*****

* 理念経営とSDGsは同軸であり理念経営の実現そのものである

***** 理念経営の基礎・東京中小企業同友会・豊島支部セミナー*****

12・25(水)11:30～13:00 Captain 平本が講師です。

チラシは <https://rinenkeieishi.net/20191225.pdf>

***** 小冊子にまとめ・セミナーを企画しております*****

2020年3月頃に東京で3時間くらいのセミナーを予定しています。開催要領ができましたら、はやぶさ・とHPで、ご案内しますのでよろしく申し上げます。

***** 第6回ビジネスモデル発表交流大会のご報告*****

はやぶさ・臨時号で報告いたしますので、楽しみにしておいてください。19・11・01にお届けしました。

バックナンバーは、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_382.pdf をご覧ください

** お問い合わせ・質問は メールアドレス: hos_biz@hosbiz.net

発行責任者:平本 靖夫、 編集長:木滝 和宗

配信解除URL:配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://kai11.net/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=shibakuru26%40gmail.com